

## 令和元年度第17回土別市教育委員会会議録

1. 日 時	令和2年3月5日（木）午後3時30分～午後5時20分				
2. 会 場	教育委員会 教育長室				
3. 出席者	教育長	中 峰 寿 彰	生涯学習部長	鴻 野 弘 志	
	職務代理者	五十嵐 紀 子	朝日地区スポーツ統括監	長 南 広 基	
	委 員	馬 場 千 晶	中央公民館長	千 葉 真奈美	
	委 員	加 藤 洋 之	学校教育課長	須 藤 友 章	
	委 員	山 田 敦 久	学校教育課管理監	大 留 義 幸	
			スポーツ振興課長	坂 本 英 樹	
			社会教育課長	武 山 鉄 也	

### 4. 議 件（発言者、議事要旨及び議決事項）

○中峰教育長あいさつ

新型コロナウイルス感染症に関する本市の対応などについては後ほど報告いたします。

3月1日には高等学校の卒業式が予定されていたが、土別翔雲高校は翌日2日に卒業生と教職員のみで挙行された。土別東高校では本日午前中に挙行し、規模縮小や時間短縮の中にも卒業の実感が感じられる式であったと報告を受けている。

何もかも止めてしまうのではなく、適切なリスク管理も図りながら判断、対応すべきである。

本日もよろしくお願ひする。

#### 1 議事について

○中峰教育長 進行

議案第45号は秘密会となるので最後にしたい。

議案第46号 令和元年度土別市教育委員会補正予算について説明を求める。

（鴻野部長・須藤課長・千葉館長・坂本課長から説明）

○五十嵐職務代理者

青少年相談員は1年間不在だったのか。

○鴻野部長

結果的に不在となった。当該業務については、社会教育課職員が対応してきたが、担当者はオーバーワークとなってしまった。

○中峰教育長

教職員免許保有が条件となっていることも、応募がない要因の一つとなっている。

○五十嵐職務代理者

博物館の非常勤職員（管理業務）も応募がなかったようだが、建物の周囲は草刈りする面積も広く、修理しなければならない機器なども多いため、対応が必要ではないか。

○中峰教育長

そのように考えており、引き続き確保に努めていく。

○五十嵐職務代理者

65歳以上の人物は市の非常勤職員として絶対に雇用できないのか。

○中峰教育長

募集しても応募がない場合などには、特例として認められる場合がある。シルバー人材センターに業務委託を依頼した場合は、作業を行う担当者を固定できないこともあり、新年度においても直接雇用（会計年度任用職員）することが望ましいと考えている。

※ 議案第46号 了承

○中峰教育長

議案第47号 令和元年度士別市公民館活動功労者表彰について説明を求める。

○千葉館長

通算10年以上公民館活動に携わり、顕著な功績がある場合は表彰の対象となる。今年度は別紙の2名の推薦があつたため審議いただきたい。

○中峰教育長

別紙の2名とも表彰することによろしいか。（全員了承）

今月中に表彰式を開催することとし、日程調整を進める。

※ 議案第47号 了承

○中峰教育長

議案第48号 士別市児童生徒大会参加交通費助成規則の一部を改正する規則について説明を求める。

○坂本課長

この規則は、平成22年に制定し、これまで必要に応じて改正してきたところ。今回の改正は、乗車する人数に対して必要以上に大きい車両を使用し、保護者などが同乗しているなどの実態があることから、適正な利用と公平性を確保するため、児童生徒の人数に応じた補助額を明文化するもの。ジャンボタクシーは稼働した時間で請求されるが、バスの場合は時間と距離で積算される。引率者の人数は北海道の基準を準用している。

○中峰教育長

特に、公平性を担保するため、補助金の基準を見直し、使用する車両や乗車人数に関わらず、自己負担額が同額になるように設定するもの。なお、国の制度改正のもと、出庫・入庫時の車両の点検に係る経費は利用者が負担することになっているとのこと。

※ 議案第48号 了承

## 2 報告について

新型コロナウイルスの発生に係る対応について

○中峰教育長

昨日は上川教育局に出向き、道教育委員会と全道の市町村教育長によるテレビ会議に参加してきた。会議の中で道教育委員会から、分散登校を実施するにあたり、例えばPTA会長など保護者から実施の是非について意見を聴取し、報告するよう指示があった。取りまとめた意見は、整理のうえ報告する。9日には上川教育局長と道教育長による会議が予定されている。本市としては、子どもたちの様子を把握するために分散登校を実施すべきと考えている。確かに登校することにより、感染拡大のリスクが増す恐れもあるが、学校は春休みまで休業する予定であり、新学期はどのような対応になるか不透明な状況にある。児童・生徒には学校から電話連絡し状況を確認しているが、子どもたちは突然日常を奪われ、ストレスを感じ始めている。牧野市長とは、もしも士別市独自の取り組みになったとしても、分散登校を行うべきと話している。道教育委員会からは、休業期間中に児童・生徒の家庭を訪問してはいけない旨の通知があつたが、今日から訪問しても良いことに変更されている。保護者から相談があつた場合は、教職員の勤務時間中に30分程度の面談が可能。卒業式について、予定していた日時に開催するが、出席者は卒業生とその保護者、教職員を基本とし、小規模校では在校生も参加させる方針。なお、来賓の参加は制

限し、PTA会長のみとする予定である。

○五十嵐職務代理者

親が共働きのため、家で一人で過ごさなければならない小学1年生から3年生の児童は何人くらいいるのか。

○中峰教育長

27日は1人だけ該当する児童がいたが、キッズ携帯を所有しており、母親と常に連絡が取れ、昼には母親が自宅に戻るため、大丈夫であるとの話があったため、保護的措置には至らなかった。分散登校の是非については、一部に「リスクがあるため反対」との意見もあった一方で、概ねは「実施すべき」との意見であった。あくまで任意での登校であり、出席日数にカウントすることもないなかで、リスクを懸念する場合は、登校しなくてもよいものである。

○五十嵐職務代理者

教科書や資料を置きっぱなしの子もいる。親が受け取るなど何らかの対応が必要。

○中峰教育長

周辺校ではプリントや課題などを家庭に届ける予定。中央地区の学校では下駄箱を使用して受け渡しするなどの対応を検討中。

○山田委員

学校の消毒作業をPTAが手伝うという話もあるようだが、感染拡大を防止する趣旨に反しないのか。

○中峰教育長

そのことを含め、いくつかの点で、国（文科省）と道（道教委）からの通知に整合性の取れない内容があるが、本件については、消毒作業に関わる人数は最小限にするようにとの通知があった。

○山田委員

消毒の方法も素人には難しい。整合性のとれる話ではないと感じる。

○中峰教育長

3月3日には東高校を会場として、市立病院の看護師から消毒方法をレクチャーしてもらった。共通して触る箇所を重点的に行うよう指導があったが、特に難しさを感じるようなことはなかったと聞いている。

○五十嵐職務代理者

公共施設の開館状況は。

○中峰教育長

できるだけ閉館しないようにしている。特にこの機会に、博物館などは混まない程度に来場してもらいたいとも思っている。

○五十嵐職務代理者

図書館に行ったが、高校生の姿はなかった。

○中峰教育長

旭川の街なかには中高生が出歩いているとの情報もあるようだ。

○加藤委員

真偽はわからないものの、市内の中高生も旭川に遊びに行っているとの話は聞いている。しかし、特に外出が目立つような状態ではない。

○中峰教育長

隠れて行動することが拡大してしまうことも懸念している。

○山田委員

だんだん休みに飽きてくるので、これからが心配。

○中峰教育長

昔は「テレビばかり見て」と叱ったが、今の子どもたちは、テレビも見ずにゲームに夢中である。何か課題や素材を提供しなければならない。

○五十嵐職務代理者

目的を見失ってしまう恐れがある。

○山田委員

例えば午前中は学習で、午後からは娛樂的な事など、メリハリが必要では。

○馬場委員

テレビ番組で、段ボールを使った工作に没頭している子どもの例が紹介されていた。いい意味で親と一緒に時間を過ごしてほしい。

○五十嵐職務代理者

子どもたちの家での過ごし方は、親が考えなければならない。

○加藤委員

結果的に内容は一緒だとは思うが、学校によって情報の伝わり方が異なっていると感じる。保護者同士で情報交換し、一部で混乱が起きているよう。噂話になって拡がっていることも。全ての学校でマチコミメールが使われている状況ではない。

○中峰教育長

今回は一度決定した分散登校の日程を延期せざるを得ない状況になってしまった。そのため、すぐに保護者に日程を周知した学校は、日程延期の通知を再度周知しなければならなくなり、保護者を混乱させたかもしれない。一方で、時間をかけて保護者への周知を準備していた学校では、混乱を招くことがなかった。学校により対応が違う場合もあるので、他の学校の動きにとらわれないでもらいたい。また、根拠のないデマ情報も流れているようなので、惑わされないでいただきたい。

令和2年第1回定例会大綱質疑について

○中峰教育長

個別の説明は省略するので、後ほどご一読いただきたい。

3 その他について

当面する今後の日程について

鴻野部長説明。

○中峰教育長

議案第45号 令和2年度士別市学校教職員の人事異動については秘密会とする。

(午後4時48分 秘密会を宣する)

(午後5時20分 秘密会を解く)

午後5時20分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

中峰 寿彰

会議録調整者

須藤 友章